

えびのの神社

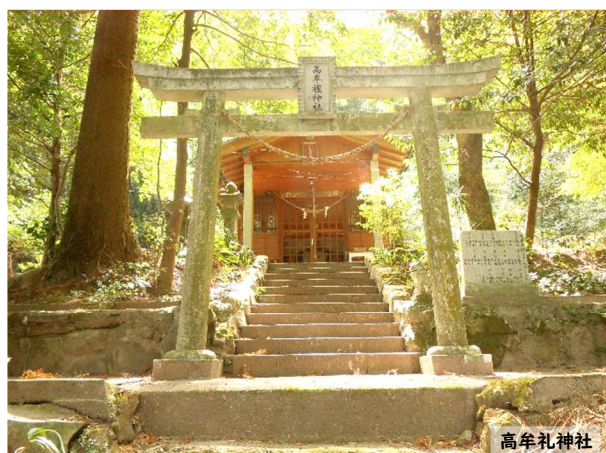
55選



白鳥神社



菅原神社(水流)



高牟礼神社



加久藤神社



香取神社



南方神社(西長江浦)

しれきしみんぞくしりょうかん
えびの市歴史民俗資料館

もくじ 目次

飯野地区

() 旧称・合祀などの名 <> 地区名・字名など

しらとり
白鳥神社 3

は やまづみ
羽山積神社 3

てんぐ
天狗神社 4

そうま
相馬神社 4

みょうけん
妙見神社 5

かとり
香取神社 5

なかしま
中島神社 6

ひるこ
蛭子神社<原田> 6

とようけ
豊受神社 (六観音御池) . . . 7

つるぎ
剣神社 7

す わ
諏訪神社(金丸諏訪大明神) . 8

はちまん
八幡神社 8

おおとすわ
大戸諏訪神社<大明司> . . 9

くまの
熊野神社<宮廻> 9

あまみや
天宮神社 10

いけじま
池島神社 10

やま
山神社 (大河平神社) . . . 11

たていし
立石神社 (立石権現) . . . 11

ま っ がん
牧之神 12

いなり
稻荷神社<坂元> 12

くまの
熊野神社<村脇> 13

あきば
秋葉神社 13

みくまり
水分神社 14

しらが
白髪神社 14

でみずかんのん
出水観音 15

加久藤地区

- か くと う
加久藤神社 16
- ひるこ
蛭子神社<栗下> 16
- かまど
竈神社 17
- くまの
熊野神社<前松原> . . . 17
- みなみかた
南方神社 (飛諏訪神社) . 18
- いなり
稲荷神社<東長江浦> . 18
- みなみかた
南方神社 (諏訪大明神) . 19
- いつくしま
巖島神社 (弁財天)
しょうくうしょうにんどう
性空上人堂 . 19
- わかみや みとし
若宮・御年神社 20
- やまつみ
山祇神社 (彦山) 20
- はらと
祓戸神社 (三徳院) . . . 21
- かなまつほうぜん
金松法然 21

真幸地区

- すがわら
菅原神社<西川北> . . . 22
- はぐろ
羽黒神社 22
- たかおれ
高牟礼神社 23
- ひえだ
幣田神社 23
- ひえ
日枝神社<山王> 24
- ひえ
日枝神社<油田> 24
- すがわら
菅原神社<水流> 25
- おかまつばとうかんのん
岡松馬頭観音 25
- おかまつ
岡松神社 26
- やまざき
山崎神社 26
- いわや
岩谷神社 27
- おおとし
大年神社 (稲荷神社) . 27
- こうじんどう
荒神堂 28
- くまの
熊野神社<中浦> 28
- やさか
八坂神社 29
- おおやまつみ
大山祇神社 29
- ふじもりごんげん
藤盛権現 30
- ゆ ごんげんしゃ
湯権現社 30

しらとり 白鳥神社



しよざいち
所在地

すえながあざしらとり
末永字白鳥

さい じん
祭 神

やまとたけるのみこと ににぎのみこと ひこほほでみのみこと
日本武尊、瓊々杵尊、彦火々出見命ほか

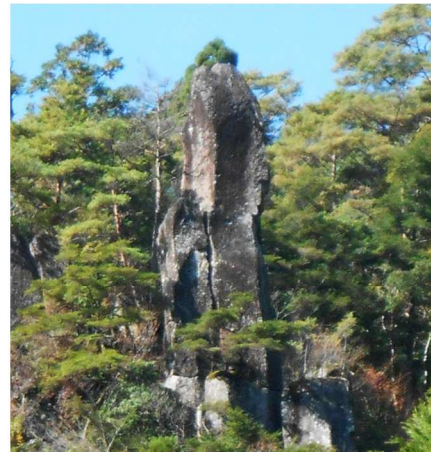
ゆい しょ
由 緒

ねんごろ しょうくうしょうにん ろっかんのんみいけ ほとり しゅぎょうちゅう やまとたけるのみこと
960年頃、性空上人が六観音御池の畔で修行中、日本武尊の

おつ じんじゃ そうけん つた べっとうじ まんぞくじ
御告げがあり神社を創建したと伝えられる。別当寺として満足寺を

こんりゆう つた
建立したと伝えられる。

はやまづみ くるそん 羽山積神社(狗留孫神社)



しよざいち
所在地

こやがの
大河平字小屋ヶ野

さい じん
祭 神

いざなぎのみこと いざなみのみこと おうじんてんのう
伊弉諾尊、伊弉冉尊、応神天皇

ゆい しょ
由 緒

じんじゃ ぜんしんくるそんごんげんしゃ べっとうじはやまでら けんきゅう ねん
神社の前身狗留孫権現社と別当寺端山寺は建久2年(1191)に

えいさいぜんじ そうけん くるそんごんげんしゃ めいじ ねん
栄西禅師が創建したといわれる。狗留孫権現社は明治8年(1875)

はやまづみじんじゃ かいしょう
羽山積神社と改称された。

てんぐ こんびら 天狗神社(金比羅神社)



しよざいち
所在地

大河平字藤坂

さい じん
祭 神

不祥

ゆい しょ
由 緒

えいさいぜんじ ちゆうごく きちよう くるそんいわ さんけい くるそんごんげん
栄西禅師が中国から帰朝して、狗留孫岩に参詣して狗留孫権現と

こんびらし こんりゆう てんぐじんじゃ ぜんしん こんびらじんじゃ ふる
金毘羅祠を建立したという。天狗神社の前進が金比羅神社で、古く

てんぐのみや
は天狗宮といわれていた。



そうま 相馬神社



しよざいち
所在地

原田字八幡丘添

さい じん
祭 神

やまとたけるのみこと おとちばなひめのみこと ぼとうかんのん
日本武尊、弟橘姫命、馬頭観音

ゆい しょ
由 緒

きさきばるがっせんご ぎゅうば しっぺい りゅうこう いたう おんりょう たた
木崎原合戦後、牛馬の疾病が流行し、伊東の怨霊の祟りであるとおそ

れ、馬頭観音を祀った。もと神社原にあったが、昭和46年(1971)

げんざいち せんざ
に現在地に遷座した。

みょうけん 妙見神社



しよざいち
所在地

原田字妙見

さい じん
祭 神

おとちばなひめのみこと
弟橋姫命

ゆい しょ
由 緒

へいせい ねん (1995) に再建された。くち果てた神社を伊勢神宮正殿を範として、本殿と拝殿が建立された。

かとり 香取神社



しよざいち
所在地

今西字宮之下

さい じん
祭 神

あめのこやねのみこと たけみかづちのみこと ふつぬしのみこと
天児屋根命、武甕槌命、経津主命ほか

ゆい しょ
由 緒

はくほうがんねん (672)、ふじわらのかまたり こんりゆう ふる いち みや
白鳳元年(672)、藤原鎌足が建立させたものという。古くは一の宮
かとりだいみょうじん かとりじんじゃ あまみやじんじゃ おうふく ごこくほうじょうきがん
香取大明神といった。香取神社と天宮神社を往復する五穀豊穰祈願の
うちうえさい みやざきけんしていおけいぶんかざい
打植祭は宮崎県指定無形文化財である。

なかしま
中島神社



しよざいち
所在地

原田字河原馬場

さい じん
祭 神

やまとたけるのみこと おとちばなひめのみこと
日本武尊、弟橘姫命

ゆい しょ
由 緒

きゅうしょう なかしまろくしょごんげん しまづよしひろいのざいじょう さい しらとりろくしょごんげん
旧称を中島六所権現という。島津義弘飯野在城の際、白鳥六所権現
(白鳥神社)を勧請したといわれる。

ひるこ
蛭子神社



しよざいち
所在地

原田字内切原

さい じん
祭 神

ひるこかみ やさかとめのかみ ほむすびのかみ
蛭子神、矢坂刀売神、火武主比神

ゆい しょ
由 緒

いいのまちく しゅごしん しょうばいはんじょう かみ ぎおんまつり
飯野町区の守護神といわれる。商売繁昌の神として、かつては祇園祭
がにぎわっていた。

とようけ 豊受神社



所在地 末永字白鳥（六観音御池）

祭神 あめのこやねのみこと
天見屋根命

由緒 性空上人の勧請で観音が祀られていたという。寛政5年（1793）4月観音堂が焼失し、その後再建された。役牛の守護神として建立したといわれる。毎年陰暦4月8日には日向、大隅、薩摩から数千の参拝者があったという。

つるぎ 剣神社



所在地 原田字宮馬場

祭神 きたはらさまのかみかねゆき
北原左馬頭兼幸

由緒 旧称を剣大明神という。天文・弘治のころ、伊東の軍勢が徳満城に攻め寄せ、北原左馬頭兼幸は切腹して果てた。その後左馬頭の怨霊が現れるようになり、それを鎮めるため北原民部少輔が弘治3年（1557）秋、宮を建て左馬頭を祀ったといわれる。

す わ かなまる す わ だいみょうじん 諏訪神社(金丸諏訪大明神)



所在地 原田字八幡岡添

祭神 す わ だいみょうじん
諏訪大明神

由緒 きゅうしょう かなまる す わ だいみょうじん えいろくねんかん しまづ
旧称を金丸諏訪大明神という。永禄年間(1558~1570)島津
よしひろいのざいじょう さいすぎづ かなまる かんじょう じきさんすうけい つた めいじ
義弘飯野在城の際杉水流金丸に勧請、直参崇敬されたと伝える。明治
20年(1887~)代ごろに杉水流鞍掛に遷座。昭和36(1961)年
げんざいち いてん
現在地に移転した。

はちまん 八幡神社



所在地 原田字八幡岡添

祭神 ほんだわけのみこと しまづさえものじょうひさもり
誉田別命、島津左衛門尉久林

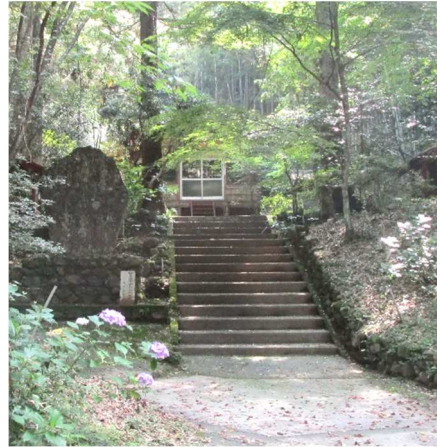
由緒 きゅうしょう よこみねはちまん さいじん ほんだわけのみこと おうじんてんのう
旧称を横峯八幡という。祭神の誉田別命はのちの応神天皇である。

とくみつじょう きたはらし たよ ひそ しまづひさもり えいきょう ねん
徳満城に北原氏を頼り潜んでいた島津久林は永享2年(1430)

おうしゅうけしまづただくに せ のが はちまんじんじゃ まえ らくぼ しぼう
奥州家島津忠国に攻められ、逃れて八幡神社の前で落馬して死亡した。

のち しまづよしひろ てんしょう ねん ひさもり れい ごうし
後に島津義弘が天正7年(1579)久林の霊を合祀したという。

おおとすわ
大戸諏訪神社 <大明司>



所在地

大明司字宮本

祭神

たけみかづちのおのかみ くしかどのかみ
 健御雷男神、櫛門戸神

由緒

きゅうしょう おおとすわだみょうじん てんしょうねん よしひろさんなんいえひさ
 旧称を大戸諏訪大明神という。天正4年(1576)義弘の三男家久

かくだうじょう たんじょう うぶかみ すうけい せきがはら たたか
 が加久藤城で誕生し、産神として崇敬されたという。関ヶ原の戦い

しゅつじん さい しまづし つか つか せんしょう きがん つた
 に出陣の際には、島津氏は使いを遣わし戦勝を祈願したと伝える。

くまの
熊野神社 <宮廻>



所在地

上江字宮廻

祭神

はやたまのおのかみ ことときのおのかみ
 速玉之男神、事解之男神ほか

由緒

きゅうしょう くまのさんしょごんげん そうけん ねんがっぴ つまび
 旧称を熊野三所権現という。創建の年月日は詳らかでない。

あまみや 天宮神社



しよざいち
所在地

末永字天宮

さい じん
祭 神

いわいぬしのみこと
齋主命

ゆい しょ
由 緒

きゆうしよう あまのみやだいみょうじん ごしんたい きよせき しゃでん もう
旧称を天之宮大明神という。御神体は巨石で社殿は設けられていな
い。香取神社の経津主命（齋主命）の神霊を祀る。旧暦2月の
かとりじんじゃ ふつぬしのみこと いわいぬしのみこと しんれい まつ きゆうれき がつ
初卯の日に打植祭が行われる。

いけじま 池島神社



しよざいち
所在地

池島自治公民館隣接地

さい じん
祭 神

くわしほこいつたけおのみこと
精矛厳健雄命

ゆい しょ
由 緒

きゆうしよう ほしじんじゃ すいじん まつ いけじまざほしざしつる
旧称を星神社といい、水神を祀った。もと池島字星指水流にあった
が、平成16年（2004）7月に木崎原古戦場史跡公園の一角に移転する
へいせい ねん がつ きさきばるこせんじょうしせきこうえん いっかく いてん
際、加治木にある義弘公を祭神とする「精矛厳健雄命」を分祀して
さい かじき よしひろこう さいじん くわしほこいつたけおのみこと ぶんし
いけじまじんじゃ ごうし へいせい ねん がつ いけじまじちこうみんかんりん
池島神社に合祀した。平成29年（2017）11月に池島自治公民館隣
せつち せんざ
接地に遷座した。

やま 山神社



しよざいち
所在地

大河平字屋敷山神平

さい じん
祭 神

ふじわらのかまたり このはなさくやひめ
藤原鎌足、木花開耶姫

ゆい しょ
由 緒

えいろく ねん おこびらけ そせん おこびら てんじゅう さい くま
永禄11年(1568)大河平家の祖先が大河平に転住の際、求麻にあつ
かまたり まつ やまがみ もとやしき げんざいち うつ ほこら た まつ
た鎌足ほかを祀る山神を、元屋敷の現在地に移し祠を建てて祀った。

たていし たていしごんげん 立石神社(立石権現)



しよざいち
所在地

坂元字芋畑

さい じん
祭 神

かんのいし とびいし
観音石の飛石

ゆい しょ
由 緒

わかし かいこく じゅんれい き くる そんいし あくたい
昔、廻国の巡礼が来て狗留孫石とはこんなものかと悪態をついたので、
しゃからりゅうおう おこり、そのため観音石は3つに折れて飛び散り、一つは
おこびら びしゃもんてん よつとき うえ らっか たていしごんげん まつ
大河平の毘沙門天となり、一つは斧砥の上に落下して立石権現として祀
られるようになったという。

ま っ がん 牧之神



しよざいち
所在地

坂元字苧畑

ゆい しょ
由 緒

はんせいじだい さつま おおすみ ひゅうが かくち ぼくや ひゅうが くにいったい とく
藩政時代、薩摩、大隅、日向の各地に牧野があり、日向の国一帯は特に
ひゅうがこま いくせい ほうぼく おこ げんろく ねん
日向駒の育成のために放牧が行われ、元禄10年（1697）ごろにはこ
の地にも馬の放牧場があり、その見張所であったといわれる。

いなり 稲荷神社



しよざいち
所在地

坂元字稲荷下

さい じん
祭 神

う かの みたまのかみ
宇迦之御魂神

ゆい しょ
由 緒

きゅうしょう いなりだいみょうじん えいろくねんかん しまづよしひろい
旧称を稲荷大明神という。永禄年間（1558～1570）島津義弘飯
野城在城の際勧請、たびたび参拝されたという。

くまの 熊野神社<村脇>



所在地

上江字村脇

祭神

ことときのおおかみ はやたまのおおかみ いざなみのかみ
事解之大神、速玉之大神、伊邪那美神

由緒

創建は詳らかでないが、社殿は江戸時代中期の作とみられるが室町

時代の様式が濃く残されているといわれる。室町時代作の阿弥陀三尊像

の懸仏2面、菊花双雀鏡など和鏡10面がある。

あきば 秋葉神社



所在地

原田字本市

祭神

ひのかつちのかみ
火之迦愚土神

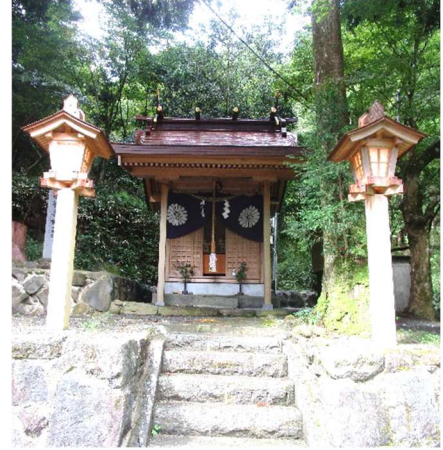
由緒

島津義弘は側室球磨御前(辺川御前)の死を弔うために保寿院を建立

した。のちにその保寿院も廃仏で壊され廃寺となった。その敷地跡に

平成7年(1995)7月島津義弘ゆかりの秋葉神社が創建された。

みくまり 水分神社



しよざいち
所在地

末永字白鳥

さい じん
祭 神

あめのみくまりのかみ くのみくまりのかみ
天之水分神、国之水分神

ゆい しょ
由 緒

そうけん ねんがっぴ ゆいしよ つまび
創建の年月日、由緒など詳らかでない。

しらが 白髪神社



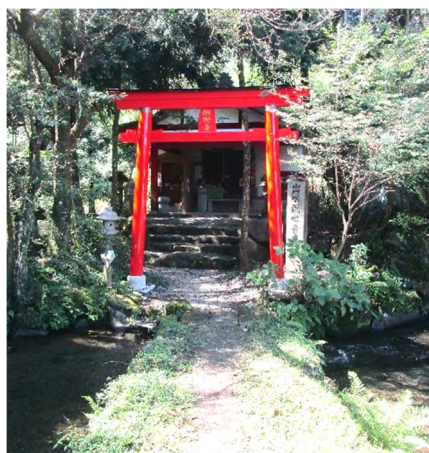
しよざいち
所在地

あぜくら
大河平字畝倉

ゆい しょ
由 緒

さいじん そうけん ねんがっぴ ゆいしよ つまび
祭神、創建の年月日、由緒など詳らかでない。

でみずかんのん 出水観音



しよざいち
所在地

末永字出水

ゆい しょ
由 緒

でみずかんのんかくこんりゆう じ き へいあんちゆうき せんねんくらいまえ い
出水観音閣建立の時期は平安中期ころ（千年位前）と言われている。

てんだいみつきよう ま さきいんかんのんじ な づ めいじ はいぶつきしゃく さい じんぐう
天台密教で真幸院観音寺と名付けられた。明治の廃仏毀釈の際、神功

こうごう まつ
皇后を祭ることになったという。安産の神様としても知られている。



か く と う 加久藤神社



しよざいち
所在地

みやじたま
栗下字宮路玉

さい じん
祭 神

たけみかづちのおのかみ ふ つ ぬしのかみ あめのこやねのみこと
健御雷男神、経津主神、天見屋根命など

ゆい しょ
由 緒

はくほう ねん ふじわらのかまたり めい かんじょう にのみやかしまだいみょうじん しょう
白鳳7年(678)藤原鎌足の命により勧請、二宮鹿島大明神と称
した。めいじがねん がつにのみやじんじゃ めいじ ねん がつかく
明治元年(1868)7月二宮神社、明治3年(1870)6月加久
どうじんじゃ かいしょう めいじ ねん せいなん えき しゃてん ほうもついつさい
藤神社と改称した。明治10年(1877)西南の役で社殿と宝物一切
を焼亡し、同14年(1881)7月に再建。現在の社殿は昭和10年
しょうぼう どう ねん がつ さいけん げんざい しゃてん しょうわ ねん
(1935)3月、がつかまもとしふじさきはちまんぐう はいてん いちく
熊本市藤崎八幡宮の拝殿を移築したものである。

ひるこ 蛭子神社



しよざいち
所在地

栗下字瀬之口

さい じん
祭 神

ひるこのかみ やさかとめのかみ ほ お すびのかみ
蛭児神、八坂刀売神、火武主比神

ゆい しょ
由 緒

きゅうしょう えび すしや めいじ ねん がつひるこじんじゃ かいしょう
旧称を恵比寿社という。明治3年(1870)6月蛭児神社と改称。

かまど 竈神社



所在地

小田字城内

祭神

火武主比神、奥津日子神、奥津比売神

由緒

旧称を三社大明神という。元龜3年(1572)加久藤城の守護神として妙見、天水、荒神の三社を勧請。明治元年(1868)三柱神社に、明治3年(1870)竈神社と改称された。

くまの 熊野神社



天明4年(1784)寄進された水石盤

所在地

小田字前松原

祭神

伊邪那美神、速玉之男神、事解之男神

由緒

旧称を熊野権現社という。天正16年(1588)に勧請。島津重豪、島津斉宜が寄進した奉額などがある。明治3年(1870)熊野神社と改称された。

みなみかた とびすわ
南方神社(飛諏訪神社)



しよざいち
所在地

小田字羽田里

さい じん
祭 神

ことしろぬしのかみ たてみなかたのかみ たけみかづちのかみ
言代主神、建御名方神、武甕槌神

ゆい しょ
由 緒

きゅうしょう とびす わだいみょうじん しまづよしひろいのざいじょう さい いとうりょうこばやし
 旧称を飛諏訪大明神という。島津義弘飯野在城の際、伊東領小林の
 おおかわはら おかはら すわ ごしんたい かま はたり ひらい よしひろ よろこ
 大川原(岡原)諏訪の御神体の鎌が羽田里に飛来、義弘これを喜び、
 ごせいがん とお いとうがた はいたい ちぎょうさんたん きしん しゃでん ぞうりつ
 御誓願の通り伊東方が敗退したので知行三反を寄進し、社殿が造立され
 たという。明治元年(1868)諏訪神社、明治3年(1870)南方神社
 と改称。

いなり
稲荷神社



しよざいち
所在地

東長江浦字鶴田越

さい じん
祭 神

うかのみたまのみこと おおたのみこと おおみやひめのみこと
倉稲魂命、大田命、大宮姫命

ゆい しょ
由 緒

きょうとく ねん がつ にちぞうりゅう きゅうしょう いなりだいみょうじん
 享徳2年(1453)11月15日造立、旧称を稲荷大明神という。
 めいじがねん いなりじんじゃ かいしょう めいじ ねん がつ か
 明治元年(1868)稲荷神社と改称。明治7年(1874)12月3日
 いなりやま げんざいち しんでん せんざ
 稲荷山にあったものを現在地の神殿に遷座。

みなみかた すわ
南方神社(諏訪大明神)



しよざいち
所在地

西長江浦諏訪平

さい じん
祭 神

ことしろぬしのかみ たてみなかたのかみ おおみかづちのかみ
 事代主神、建御名方神、大雷神ほか

ゆい しょ
由 緒

おうえい ねん しきぶのじょうよしかね こんりゅう す わ だいまいようじん しょう
 応永10年(1403)式部丞吉兼の建立、諏訪大明神と称した。

めいじがんねん がつ す わ じんじゃ かいしょう めいじ ねん がつみなみかた
 明治元年(1868)7月諏訪神社と改称、明治3年(1870)6月南方

じんじゃ かいしょう まいとし がつ さいてん ねんいじょう てんとう
 神社と改称された。毎年8月の祭典には、400年以上の伝統をもつ

おおだいこおどり ほうのう
 大太鼓踊が奉納される。

いつくしま べんざいてん しょうくうしょうにんどう
巖島神社(弁財天)・性空上人堂



性空上人堂

しよざいち
所在地

西長江字弁財天

さい じん
祭 神

さよりひめのみこと
 狭依毘売命

ゆい しょ
由 緒

べんざいてん しょう しょうくうしょうにん かいき つた さいけん げんろく ねん
 弁財天と称し性空上人の開基と伝える。再建された元禄6年

(1693)の棟札がある。明治元年(1868)7月巖島神社と改称された。

わかみや みとし
若宮・御年神社



所在地 西郷字川久保 901

祭神 おおとしがみ おとしがみ おうじんてんのう
 大年神、御年神、応神天皇

由緒 わかみやじんじゃ そうけん てんしょう ねん ふじわらただひら しまづよしひろ かんじょう みとし
 若宮神社の創建は天正2年(1574)藤原忠平(島津義弘)が勧請した。御年
 じんじゃ そうけん しょうおう ねん ふる としのかみしや しょう めいじ ねん
 神社の創建は承応3年(1654)。古くは年之神社と称し、明治6年(1873)
 10月御年神社と改称された。御年神社はもと、湯田字塩井川1217番地にあ
 り、わかみやじんじゃ ごうし げんざいち いてん しょうわ ねん
 若宮神社を合祀していた。その後、若宮神社は現在地に移転。昭和57年
 こくどう かいしゅうこうじ みとしじんじゃ わかみやじんじゃ ごうし
 国道268の改修工事により、御年神社が若宮神社に合祀された。

やまつみ
山祇神社<彦山>



所在地 東川北字彦山

祭神 おおみかつちのかみ たかおかみのかみ おおやまつみのかみ
 大雷神、高麗神、大山祇神

由緒 ふる ひがしかわきたあざてらその ちんざ やまがみ めいじ ねん がつやまつみじんじゃ
 古くは東川北字寺園に鎮座した山神で、明治3年(1890)6月山祇神社
 かいしゅう めいじ ねん がつおしほねじんじゃけいだい いてん
 と改称され、明治23年(1890)9月忍骨神社境内に移転した。

はらと さんとくいん 祓戸神社(三徳院)



所在地

栗下字本町

祭神

瀬織津比咩神、速秋津比咩神、速佐須良比咩神ほか

由緒

三徳院は明治初年廃仏毀釈で寺号を失い祓戸神社と改称。祓戸神社は

明治4年(1871)9月26日の創建。明治8年宗教の自由により、

再び天台宗にかえり三徳院と称す。

かなまつほうぜん 金松法然



所在地

栗下

由緒

俗称「焼酎法然」「金松さあ」「一事さあ」の名で親しまれる。

焼酎を供えて一事を願えば望みがかなうといわれる。焼酎が好きだ

った法然(乞食坊主)の命日は安永6年(1777)9月23日の秋分の

日である。

すがわら 菅原神社<西川北>



しよざいち
所在地
さい じん
祭 神
ゆい しょ
由 緒

西川北字宮後

すがわらのみちざね
菅原道真

創建の年月日は詳らかでないが、すがわらのみちざね しそん どうしょう きょうと
北野天満宮を勧請したという。現在の本殿は寛文5年（1665）3月、
はいてん かんぶん ねん がつ こんりゅう うしごえさい し
拝殿は寛文6年（1666）4月に建立されたもので、牛越祭とともに市
指定文化財である。

はぐろ 羽黒神社



しよざいち
所在地
さい じん
祭 神
ゆい しょ
由 緒

島内字羽黒

うかの みたまのかみ あまこのかみ ひるこのかみ
倉稻魂神、天子神、蛭子神

きゅうしょうはぐろごんげん そうげん ねんがっぴ つまび もと しまうちあざうえい
旧称羽黒権現。創建の年月日は詳らかでないが、元は島内字上井に
あったものを堂本井堰を造る時、しょうとく ねん げんざいち うつ
正徳3年（1713）現在地に移された
という。

たかむれ 高牟礼神社



所在地

浦字高牟礼

祭神

天津児屋根命、天照大神、斎主神ほか

由緒

旧称高牟礼六社権現、三之宮四社大明神。天智天皇7年(668)、大職冠藤原鎌足の勸請という。文政8年(1825)2月炎上したので創建の年代は詳らかでない。

ひえだ 幣田神社



所在地

柳水流

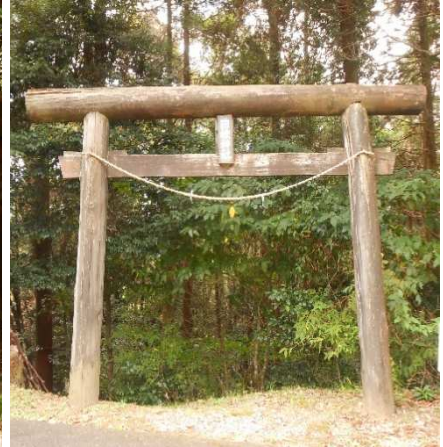
祭神

瓊瓊杵尊、彦火火出見命、豊玉姫命ほか

由緒

創建の年月日は詳らかでない。寛文元年(1661)社殿を再建、安永3年(1774)2月に拝殿、同4年(1775)に宝殿を大改築する。境内に稲荷神社、豊受神社がある。

ひ え 日枝神社<山王>



所在地 しよざいち 北昌明寺山王 さんおう

祭神 さいじん おおやまつみのかみ さるとひこのみこと みずはのめのみこと
大山祇命、猿田彦命、弥都波能売命

由緒 ゆいしよ えいにながねん えい 永任元年 (1293) しようがつ 正月、くさかべさだつぐ 日下部貞継の創建でそうけん 水流のつる 管原神社が創建
されるまで、よしだごう 吉田郷のちんじゆ 鎮守であったという。めいじねん 明治5年 (1872) がつ 7月29
日、にち 南昌明寺のみなみしようみようじ 日枝神社へひえじんじゃ 合祀される。

ひ え 日枝神社<油田>



所在地 しよざいち 昌明寺字油田 あぶらでん

由緒 ゆいしよ そうけん ねんがつび 創建の年月日は詳らかでないが、つまび 昌明寺字山王のしようみようじあざさんおう 日枝神社のひえじんじゃ 遥拝所と
いう。めいじねん 明治5年 (1872) がつ 7月29日、にち 山王のさんおう 日枝神社をひえじんじゃ ここへごうし 合祀。

※遥拝：はるかに遠い所からおがむこと。(引用：『広辞苑 第三版』)

すがわら
菅原神社<水流>



所在地
祭神
由緒

水流字宮東
菅原道真

河野伊代守道正、真幸院吉田に来て北原氏の家臣となり、氏を境田と改め建山の上に天満神社を建て、吉田の鎮守とする。享禄4年

(1531) 境田対馬守満元、天満神社を槻ヶ牟礼に移す。元禄13年

(1700) 社殿焼亡、ご神体は焼けなかった。元禄16年 (1703) 3月社殿再建、昭和26年 (1951) 9月浮浪者の失火により社殿焼失、昭和29年 (1954) 6月社殿焼失、昭和29年 (1954) 6月社殿再建。

おかまつばとうかんのん
岡松馬頭観音



所在地
由緒

岡松

永禄10年 (1567) 菱刈の馬越城攻めで義弘の馬が宮の平の難所において負傷・死亡したので、義弘はそこに馬を葬り自然石を建て、これを馬頭観音として祀り、吉田郷の地頭にその管理を命じた。文政2年

(1819) 4月、岡松に牛馬の疫病が流行し多くの牛馬が死んだので、岡松の庄屋が地頭に請願して、宮の平の馬頭観音を岡松に移し樹齢400年を誇る松の巨木の下に安置し、岡松馬頭観音と改名した。

おかまつ
岡松神社



しよざいち
所在地

岡松字岡松

さい じん
祭 神

さるたひこのみこと あめのみなかぬしのかみ
猿田彦命、天御中主命

ゆい しょ
由 緒

めいおうがねん おかまつむら さるたひこのみこと まつ だいみょうじん そうけん
明応元年（1492）岡松村に猿田彦命を祭る大明神を創建したのが
おかまつじんじゃ はじ てんぶん ねん がつさいけん い ごすうかい
岡松神社の始まりである。天文17年（1548）5月再建、以後数回の
さいけん あと ぶんか ねん がつしまづふみおき さいけん めいじ ねん
再建の後、文化5年（1808）4月島津文興が再建、明治10年
（1877）せいなん えき ぜんしやう めいじ ねん がつおかまつそんみんうじこ
西南の役で全焼、明治17年（1884）4月岡松村民氏子で
さいけん
再建。

やまざき
山崎神社



しよざいち
所在地

亀沢字山崎

さい じん
祭 神

う け もちのかみ あまこやねのみこと みずはのめののみこと
宇気母知神、天見屋根命、弥津波能売命

ゆい しょ
由 緒

げん な ねん がつあいら かめつるじやうに まる げんざいち いてん
元和2年（1616）9月始良の亀鶴城二の丸から現在地に移転したとい
う。あんえい ねん がつさいこう めいじ ねん がつかめさわ つきじ
安永5年（1776）2月再興、明治40年（1907）5月亀沢の築地
じんじゃ ごうし しょうわ ねん がつさいけん
神社を合祀、昭和55年（1980）11月再建。

いわや
岩谷神社



所在地 いわや 向江字岩谷

祭神 やまとたけるのみこと 日本武尊

由緒 そうけん ねんがっぴ つまび 創建の年月日は詳らかでないが、かんえい ねん 寛永12年（1635）2月、がつ めいじ ねん 明治6年

がつ（1873）2月にそれぞれ再建され、めいじ ねん 明治40年（1907）7月同村の

むかしくしゃくまのじんじやおよ じしゅじんしゃ ごうし 無格社熊野神社及び地主神社を合祀。

おおとし いなり
大年神社(稻荷神社)



所在地 うちたて しるにし 内豎字城西

祭神 おおとしかみ 大年神

由緒 そうけん ねんがっぴ つまび 創建の年月日は詳らかでないが、きょうほう ねん 享保16年（1731）としがみだいみょうじん 歳神大明神

はいでんいちう さいけん めいじ ねん 拝殿一字を再建、がつうちたてとりいやま 明治45年（1912）7月内豎鳥井山からげんざいち 現在地に

せんざ しょうわ ねん 遷座。がつさいけん 昭和55年（1980）4月再建。いなりじんじゃ ごうし 稻荷神社を合祀。

こうじんどう 荒神堂



しよざいち
所在地

向江京町

さい じん
祭 神

さんぼうこうじん おきつひこのみこと おきつひめのみこと
三宝荒神、奥津日子命、奥津比売命

ゆい しょ
由 緒

そうけん ねんがつび つまび おかし きょうまち かさい すく
創建の年月日は詳らかでない。昔から京町は火災が少ない、もし
かさい だいかさい ちくみん あつ しんこう
火災になっても大火災にはならずすむ、といわれ地区民の厚い信仰を
う けいでい し てんねんきねんぶつ たいじゆ えびすどう はちくようぼさつ
受けている。境内に市の天然記念物のタブ大樹・恵比寿堂・八供養菩薩
ひ
碑などがある。

くまの 熊野神社<中浦>



しよざいち
所在地

浦 中浦

さい じん
祭 神

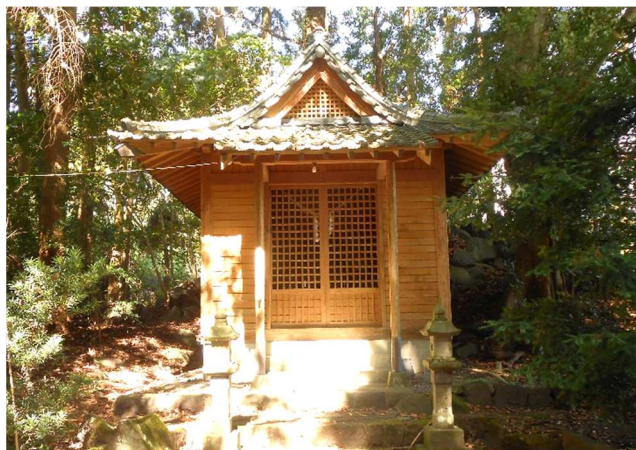
くまのはやたまのおおかみ
熊野速玉大神

ゆい しょ
由 緒

きいこくむろぐん げんわかやまけんしんぐうし くまのはやたまじんじゃ げんくまのはやたまたいしゃ
紀伊国牟婁郡（現和歌山県新宮市）熊野速玉神社（現熊野速玉大社）を

かんじょう めいじ ねん がつ にちそうけん
勧請、明治17年（1884）12月27日創建。

やさか 八坂神社

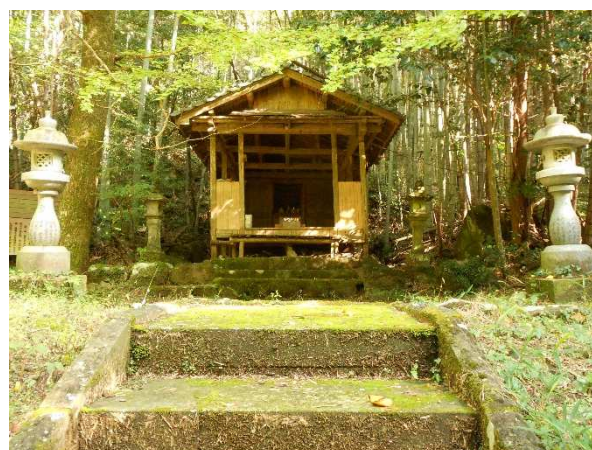


所在地 浦上浦沢原

祭神 素戔鳴尊、櫛稲田媛命、馬頭観音

由緒 創立年月日は詳らかでない。島津氏が沢原に牧場を設け、牧神として
文政5年(1822)2月24日馬頭観音を合祀。

おおやまつみ 大山祇神社



所在地 浦上浦

祭神 おおやまつみのかみ たかおかみのかみ おおみかづちのかみ
大山祇神、高竈神、大雷神

由緒 創立年月日は詳らかでない。明治5年(1872)8月2日都城県の命
により、西川北の山之口、源之丞木場、崩ヶ尾、島内の大山炭床、岡元
の北別府、柳水流の各山神と昌明寺の野崎神社を合祀して、真幸地区
の山神とする。

ふじもりごんげん 藤盛権現



所在地 岡松 北岡松
 祭神 石の御神体
 由緒 そうけん ねんがっぴ つまび えどまっき こんりゅう
 創建の年月日は詳らかでないが、江戸末期には建立されていた。

ゆ ごんげんしゃ 湯権現社



所在地 昌明寺 湯の本（吉田温泉）
 由緒 えいろく ねん がつ しまづよしひろ こばやしじょう こうげき ふしろう よしだ
 永禄9年（1566）9月、島津義弘は小林城での攻撃で負傷し、吉田
 おんせん りょうよう きわ こうのう てんしょう ねん よしひろ おんせん
 温泉で療養して極めて効能があった。天正5年（1577）義弘は温泉
 ほしゅう ちか ゆ ごんげんしゃ こんりゅう
 を補修し、近くに「湯権現社」を建立した。

さくいん 索引

飯野地区：緑 加久藤地区：赤 真幸地区：青

() 旧称・合祀などの名 <> 地区名・字名など

あ

あきば
秋葉神社 | 3

あまみや
天宮神社 | 0

いけしまじんじゃ
池島神社 | 0

いつくしま
巖島神社 (弁財天)

性空上人堂 | 9

いなり
稲荷神社<坂元> | 2

いなり
稲荷神社<東長江浦> | 8

いわや
岩谷神社 | 27

おおとし
大年神社 (稲荷神社) | 27

おおとすわ
大戸諏訪神社<大明司> | 9

おおやまつみ
大山祇神社 | 29

おかまつ
岡松神社 | 26

おかまつばとうかんのん
岡松馬頭観音 | 25

か

か かくとう
加久藤神社 | 6

かとり
香取神社 | 5

かなまつほうぜん
金松法然 | 21

かまど
竈神社 | 7

くまの
熊野神社<中浦> | 28

くまの
熊野神社<前松原> | 7

くまの
熊野神社<宮廻> | 9

くまの
熊野神社<村脇> | 3

こうじんどう
荒神堂 | 28

さ

しらが
白髪神社 | 4

しらとり
白鳥神社 | 3

すがわら
菅原神社<水流> | 25

すがわら
菅原神社<西川北> | 22

すわ
諏訪神社 (金丸諏訪大明神) | 8

そうま
相馬神社 | 4

た

たかむれ
高牟礼神社 | 23

たていし
立石神社 (立石権現) | 11

つるぎ
剣神社 | 7

てみずかんのん
出水観音 | 15

てんぐ
天狗神社 | 4

とようげ
豊受神社 (六観音御池) | 7

な

なかしま
中島神社 | 6

は

羽黒神社 22

八幡神社 8

羽山積神社 3

萩戸神社 (三徳院) 21

日枝神社<山王> 24

日枝神社<油田> 24

幣田神社 23

蛭子神社<原田> 6

蛭子神社<栗下> 16

藤盛権現 30

や

八坂神社 29

山神社 (大河平神社) 11

山崎神社 26

山祇神社 (彦山) 20

湯権現社 30

わ

若宮・御年神社 20

ま

牧之神 12

水分神社 14

南方神社 (諏訪大明神) 19

南方神社 (飛諏訪神社) 18

妙見神社 5



諏訪神社 (飛諏訪神社) からの眺望



発行/2022年1月

しれきしみんぞくしりょうかん
えびの市歴史民俗資料館

〒889-4311 宮崎県えびの市大字大明司2146-2 TEL/FAX 0984-35-3144

Facebook



Twitter

